

『文学国語』(文国 701)



マイスター Meister 収録・補充資料のご紹介

(指導者用デジタルコンテンツ集)



# 古典作品を学習できる、 補充資料をご用意いたします！

データ形式：Word・一太郎

高校で押さえておきたい古典作品や、  
教科書教材と関連して扱える古典作品を収録！

源氏物語

紫式部

若紫

三歳で母桐壺の更衣と死別した男皇子のようになった。光源氏は、その後入内してきくと聞いて、いつしか思慕するようになった。だが壺の宮への愛は、思うにまかせぬものであった。十八歳の春のこと、光源氏は、北山の聖のい起こる熱病)の祈禱に出かけていく。祈禱の合間に木で編んだ垣根)に囲まれた風情のある住まいを

日もいと長きに、つれづれなれば、夕暮れのいたうかの小柴垣のもとに立ち出で給ふ。人々は帰し給ひて、給へば、ただこの西面にしも、持仏据多奉りて行ふ尼なげて、花奉るめり。中の柱に寄りゐて、脇息の上に経をしげに読みあたる尼君、ただ人に見えず。四十余ばかりに瘦せたれど、つらつきふくらかに、まみのほど、髪の毛のうつくしげにそがれたる末も、なかなか長きよりもこよなう今めかしきものかな、とあはれに見給ふ。

清げなる大人二人ばかり、さては、童べぞ出で入り遊ぶ。中に、十ばかりにやあらむと見えて、白き衣、山吹などの萎えたる着て走り来たる女子、あまた見えつる子どもに似るべうもあらず、いみじく生ひ先見えて、うつくしげなるかたちなり。髪は扇を広げたるやうにゆらゆらとして、顔はいと赤くすりなして立てり。

- 《注》
- ◆ 惟光 光源氏の乳母子で、腹心の部下。
  - ◆ 西面 西に面した部屋。
  - ◆ 持仏 守り本尊として身近に安置し、朝夕礼拝する仏像。
  - ◆ 中の柱 部屋の中央にあり、壁に接していない柱。
  - ◆ 脇息 ひじ掛け。

《現代語訳》

日もまことに長いうえに、なすこともなく退屈なので、(光源氏はのたいそう霞んでいるのに紛れて、あの小柴垣のもとにお出かけの者たちは(都に)お帰しになって、惟光の朝臣と(小柴垣のうちをきになると、ちょうどこの(目の前の)西向きの部屋に、持仏を安置してお供えするよう

《学習の手引き》

1 この文章に登場する「十ばかり」の少女は、どのような人か。その容貌や言動に注意してまとめてみよう。

解答例 ・容貌：顔つきはたいそうかわいらしく、将来が非常に美しい。眉のあたりがぼうっとしている。尼君に似ているだけでなく、髪はたつぷりでつやつやしていて美しい。額つき、髪の毛の生えざまがかわいらしい。眉のあたりがぼうっとしている。尼君に似ているだけでなく、髪は非常によく似ている。・言動：十歳ぐらいであるが、雀の子が逃げたことを残念がるような、同年代に比べて幼さを感じさせる言動をする。

2 光源氏が、「十ばかり」の少女に心引かれていくのはなぜか。  
解答例 この少女が、かわいらしく、光源氏が恋い慕う藤壺の宮によく似ていたから。  
3 「生ひ立たむ」の歌と「初草の」の歌とに共通して詠まれているのは、どのようなことか。

高校で押さえておきたい作品として、古文「桐壺」「若紫」(『源氏物語』)や漢文「四面楚歌」など。教科書教材と関連して扱える作品として、古文「芥川」(『伊勢物語』/「文学のふるさと」と関連)、漢文「人虎伝」(「山月記」と関連)など。合計 15 教材程度を収録予定。

注・現代語訳・学習の手引き・  
解答例も掲載！